

当院における MMG の現状報告

岐阜県立下呂温泉病院 岩垣津 菜穂

1. 使用機器について

- ・ MMG 装置：東芝メディカルシステムズ社製
Mammorex MGU-100D
- ・ 読み取り装置：コニカミノルタ社製 REGIUS 190
- ・ レーザーイメージャー：コニカミノルタ社製
DRYPRO Vstage793
- ・ カセット：コニカミノルタ社製 IP CASSETTE D
- ・ フィルム：コニカミノルタ社製 NEW CM-H
- ・ 高輝度シャーカステン：3 台

2. 日常の精度管理

毎日の精度管理は行なっておらず、1年に1回精度管理を依頼している。また、撮影条件等を変更する場合にも、その都度依頼している。

精度管理の項目は、以下のようになっている。

- ・ 圧迫圧と圧迫厚の表示精度
- ・ 圧迫器の安全確認
- ・ 装置各部の作動確認
- ・ X線照射野、光照射野、受像器面の整合性
- ・ 胸壁端付近の画像欠損確認
- ・ 管電圧の精度と再現性
- ・ 圧迫板透過後の線質（HVL）
- ・ AEC の性能
- ・ X線出力の再現性
- ・ 平均乳腺線量
- ・ アーチファクト評価

デジタルシステムだがフィルム出力しており、モニタによる診断は行なっていないため、モニタの精度管理は行なっていない。

3. 実施状況

①ドック

- ・ 年間の受診者数：400 名＋職員 80 名

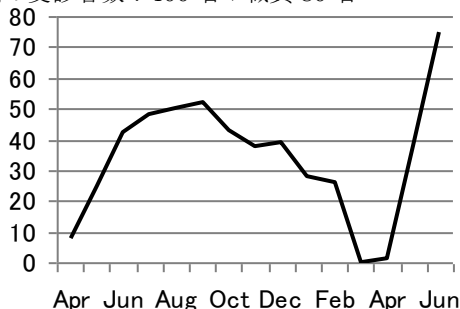


Fig.1: ドックの受診者数の推移

- ・ 検査内容：視触診、MMG、エコー
- ・ 日程：月曜日と金曜日の午前中（女性受診日のため）
職員検診の視触診は県立総合医療センターの医師に依頼するため、5月～6月に実施している。

- ・ 業務ローテ：4 名
- ・ 読影：医師のみで行なっている。

②乳腺外来

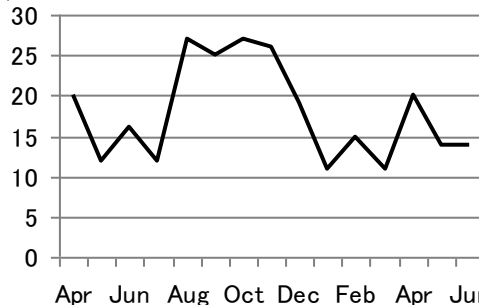


Fig.2: 乳腺外来の受診者数の推移

- ・ 年間の受診者数：240 名（1日平均 4～5 名）
- ・ 実施時間：火曜日の 13 時～
ただし、初診や術後の経過観察の MMG は随時撮影している。
- ・ 症例検討会等：医師のみで行なっている。

4. MMG 認定技師

- ・ 男性：6 名のうち 0 名
- ・ 女性：4 名のうち 2 名

現在、当院では男性による MMG 撮影は行なっていない。

5. 撮影室の環境や撮影時に気を付けていること

- ・ 室内は明るすぎない調光にする。
- ・ 寒すぎない室温にする。
- ・ カセットホルダが冷たくないような工夫をする。
- ・ 撮影時、MMG 検査についてしっかりと説明を行なう。
- ・ ゆっくりと圧迫する。
- ・ 体を触りすぎない。

6. 問題点

- ・ 技師によって画像の出来のムラがあること。
- ・ 受診者数の減少。
- ・ MMG 装置と骨塩定量測定装置が同一の部屋に設置されていること。
- ・ ドックと乳腺外来で、同一の装置を用いること。
- ・ 受診者に対する接遇。

7. 今後の展望

- ・ 技師によらず、同じような画像にすること。
- ・ 施設認定を取得すること。
- ・ 一部屋に MMG 装置のみ設置すること。
- ・ ドックと乳腺外来で、別々の MMG 装置を設置すること。
- ・ MMG を受ける不安を取り除いたり、MMG を知ってもらうための、ポスターやパンフレットの作成。